



TITLE:

法令

AUTHOR(S):

CITATION:

法令. 經濟論叢 1930, 31(1): 155-156

ISSUE DATE:

1930-07-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/129901>

RIGHT:

大正四年六月二十一日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）

會學濟經學大國帝都京

叢論濟經

號一第 卷一十三第

行發日一月七年五和昭

論叢

簿記の出發に於ける一問題……………法學博士 上野道輔

戶數割に於ける調整……………法學博士 神戸正雄

數學的經濟學の論理的構造……………文學博士 米田庄太郎

購買力平價說の一考察……………文學博士 高田保馬

時論

米國移民法の改正に就いて……………法學博士 末廣重雄

說苑

東京市中心地晝間人口調査に就いて……………法學士 金谷重義

銀行の信用膨脹に就いて……………經濟學士 中谷實

雜錄

小賣規模の大と小賣費用との關係……………經濟學士 谷口吉彦

都市の經濟的概念と本質……………經濟學士 大谷政敬

法令

賠償金特別會計法中改正・市町村義務教育費國庫負擔法中改正・輸出補償法

附錄

新着外國經濟雜誌主要論題

（禁轉載）

法令

賠償金特別會計法中改正

法律第二號 (昭和五年五月十六日)

賠償金特別會計法中左ノ通改正ス

第三條中「法令ノ定ムル所ニ依リ支出スル交付金、」ヲ削リ「第三條ノ二ノ規定ニ依ル組入金、」ノ下ニ「第三條ノ三ノ規定ニ依ル國債償還金、」ヲ加フ

第三條ノ三 本會計ノ資金ニシテ獨逸國等トノ平和條約賠償條項ニ基キ昭和四年度以降受領スル賠償金及物件ノ賣拂代金ノ受入額ニ相當スルモノハ豫算ノ定ムル所ニ依リ國債整理基金特別會計法第二條ノ規定ニ依ル繰入額ノ外一般會計負擔ノ國債ノ元金償還ニ充ツル爲之ヲ國債整理基金特別會計ニ繰入ルルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

大正九年(八月三日公布)法律第二十五號賠償金特別會計

法抄錄

第三條 本會計ハ賠償金及其ノ利子、本會計所屬物件ノ賣拂代金及貸付料、運用利殖金並附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲

法令

入トシ法令ノ定ムル所ニ依リ支出スル交付金、第三條ノ二ノ規定ニ依ル組入金、事務取扱費其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歲出トス

市町村義務教育費國庫負擔法中改正

法律第五號 (昭和五年五月十六日)

市町村義務教育費國庫負擔法中左ノ通改正ス

第二條中「七千五百萬圓」ヲ「八千五百萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ昭和五年度分國庫支出金ヨリ之ヲ適用ス

〔參照〕

大正十二年(三月二十八日公布)法律第二十號市町村義務教育費國庫負擔法抄錄

第一條 市町村立尋常小學校教員ノ俸給ニ要スル經費ノ一部ハ國庫之ヲ負擔ス

第二條 前條ノ規定ニ依リ國庫ノ負擔トシテ支出スヘキ金額ハ毎年度七千五百萬圓ヲ下ラサルモノトス

輸出補償法

法律第六號 (昭和五年五月十六日)

第一條 政府ハ本法施行地内ニ住所又ハ營業所ヲ有スル者ガ内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ於テ生産製造又ハ加工セラレタル商品ヲ本法施行地ヨリ主務大臣ノ指定スル地域ニ輸出

第三十一卷 一五五 第一號 一五五

スル爲振出シタル荷爲替手形ヲ銀行ガ買取り之ニ因リテ損失ヲ受ケタル場合ニ於テ當該銀行ニ對シ帝國議會ノ協賛ヲ經タル金額ノ範圍内ニ於テ其ノ損失ノ百分ノ七十ヲ限度トシ之ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第二條 前條ノ契約ヲ爲シタル銀行ガ其ノ契約ニ基キ荷爲替手形ヲ買取りタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ補償料ヲ政府ニ納付スベシ

第三條 第一條ノ損失ハ銀行ガ荷爲替手形ノ満期日ニ支拂ヲ受クルコト能ハザリシ金額ヨリ左ノ各號ニ掲グル金額ヲ控除シタルモノトス

一 荷爲替手形ニ付擔保アルトキハ其ノ處分ニ依リテ得タル金額(第五條ノ場合ニ於テハ其ノ手形ノ附屬荷物ノミノ處分ニ依リテ得タル金額)ヨリ其ノ處分ノ爲支出シタル費用ヲ控除シタル殘額

二 満期日ニ支拂ヲ受クルコト能ハザリシ金額ニ付補償前ニ全部又ハ一部ノ償還又ハ支拂ヲ受ケタルトキハ其ノ金額

第四條 銀行ハ補償ヲ受ケタルトキハ其ノ手形ニ付遲滞ナク償還請求權其ノ他ノ手形上ノ權利ヲ行使スベシ但シ其ノ權利ノ行使ニ要スル費用ガ其ノ行使ニ依リテ得ベキ金額ヲ超ユルモノト認メラルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ權利ノ全部又ハ一部ヲ行使セザルコトヲ得

銀行ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ權利ノ行使ニ依リテ得

タル金額ヨリ満期日以後ノ利息及銀行ガ其ノ權利ノ行使ノ爲支出シタル費用ヲ控除シタル殘額ヲ政府ニ納付スベシ

第五條 第一條ノ契約ニ於テ左ノ各號ニ該當スル定メ爲シタルトキハ前條ノ規定ハ之ヲ適用セズ但シ償還請求權以外ノ手形上ノ權利ノ行使及其ノ行使ニ依リテ得タル金額ノ處分ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 荷爲替手形ノ振出人及支拂人が命令ヲ以テ定ムル資格ヲ有シ其ノ手形ガ注文ニ依リ商品ヲ輸出スル爲振出サレタル場合ニ限リ損失補償ヲ爲スコト

二 損失補償ノ割合ガ百分ノ六十ヲ超エザルコト

三 銀行ガ損失補償金ニ相當スル金額ニ付償還ノ請求ヲ爲サザルコト

第六條 第一條ノ契約ヲ爲シタル銀行ガ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ契約ニ違反シタルトキハ政府ハ契約ヲ解除シ、損失ノ全部若ハ一部ニ付補償ヲ爲サズ又ハ損失補償金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトヲ得

第七條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ政府ハ商品ヲ輸出シタル爲受取りタル約束手形ヲ銀行ガ買取り之ニ因リテ損失ヲ受ケタル場合ニ於テ當該銀行ニ對シ之ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ第一條乃至前條ノ規定ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム